

## シップ・リサイクルに関する日本-IMO共催国際セミナー プログラム

### 14:00 開会スピーチ

- ・ キータック・リム IMO 事務局長

### 14:10 セッション1： シップ・リサイクル条約適合に向けた業界の取組

安全で環境に優しいシップリサイクルの実現に向けては、世界中のシップリサイクルヤード及び船舶が条約に適合することが極めて重要。本セッションでは、各分野の業界のリーダーが、条約適合に向けた取組及びその進捗並びに早期発効に向けた課題について発表する。業界の最新状況について情報共有することを通じて、条約についての理解を深めるとともに、早期発効に向けて何が必要かについて意見交換を行う。

#### (1) 国際海運業界から見た条約早期発効の必要性及び現在の取組と課題

(欧州、アジア船主による取組を含む)

- ・ ガイ・プラット 世界海運会議所(ICS) 事務局長
- ・ マーティン・ドールセン 欧州船主協会(ECSA) 事務局長
- ・ アン・チン・エン アジア船主協会(ASA) 事務局長

#### (2) タンカー分野による取組と課題

- ・ ティム・ウィルキンス 国際タンカー船主団体(INTERTANKO) 環境部長

#### (3) 国際リサイクル業界における取組と課題

- ・ レイノード・ピズパース 国際シップリサイクル協会(ISRA) 部長

#### (4) インドのシップリサイクル業界の取組(ヤードの改善状況等)

- ・ ニティン・カナキア インドシップリサイクル協会(SRIA) 事務局長
- ・ チンタン・カルティア カルティアシップブレイキング 部長

#### (5) 船級協会による南アジアのヤード認証及び改善に向けた取組

- ・ 平田純一 日本海事協会(Class NK) 部長

#### (6) 労働者から見た直近のヤード改善状況と条約発効への期待

- ・ 松崎寛 国際労働組合(IndustriALL) 部長

### 15:50 コーヒーブレイク

## 16:10 セッション2： シップリサイクル政策（条約締結に向けた取組）

シップ・リサイクル条約については採択後 10 周年を迎えることから、その発効への期待が高まっている。本セッションでは、政策立案者が各国のシップリサイクル政策及び持続可能なシップリサイクルに向けた国際協力プロジェクトの最新状況を紹介する。主要海事国の締結に向けた展望を共有するとともに、早期発効への国際機運醸成に向け必要な取組について意見交換を行う。

### （1）日本の条約締結及び発効促進に向けた取組（インドのヤード改善支援等）

- ・ 今井新 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室長

### （2）条約発効に向けた取組（EU 規則の実施状況を含む）

- ・ ピーター・コラー 欧州委員会 環境総局 政策官

### （3）インドにおけるシップリサイクル政策と条約締結に向けた取組

- ・ ダスラット・プラサド インド海運省 課長

### （4）中国における条約締結に向けた展望

- ・ チュンチャン・ジャン 中国交通運輸部海事局 課長補佐

### （5）バングラデシュにおける条約締結に向けた展望

- ・ ミザナル・ラハマン バングラデシュ産業省 課長

### （6）ノルウェーの条約早期発効に向けた期待と取組

- ・ スヴァイヌン・オフテダル ノルウェー環境省 専門課長

## 17:50 閉会スピーチ

- ・ 斎藤英明 海洋環境保護委員会（MEPC）議長（国土交通省海事局船舶産業課長）

## 18:00 閉会